



石田研究室



研究分野: 教育工学・情報学

研究テーマ: 大学生を対象としたキャリア教育・情報教育の設計 (インストラクショナルデザイン) / 評価手法の検討

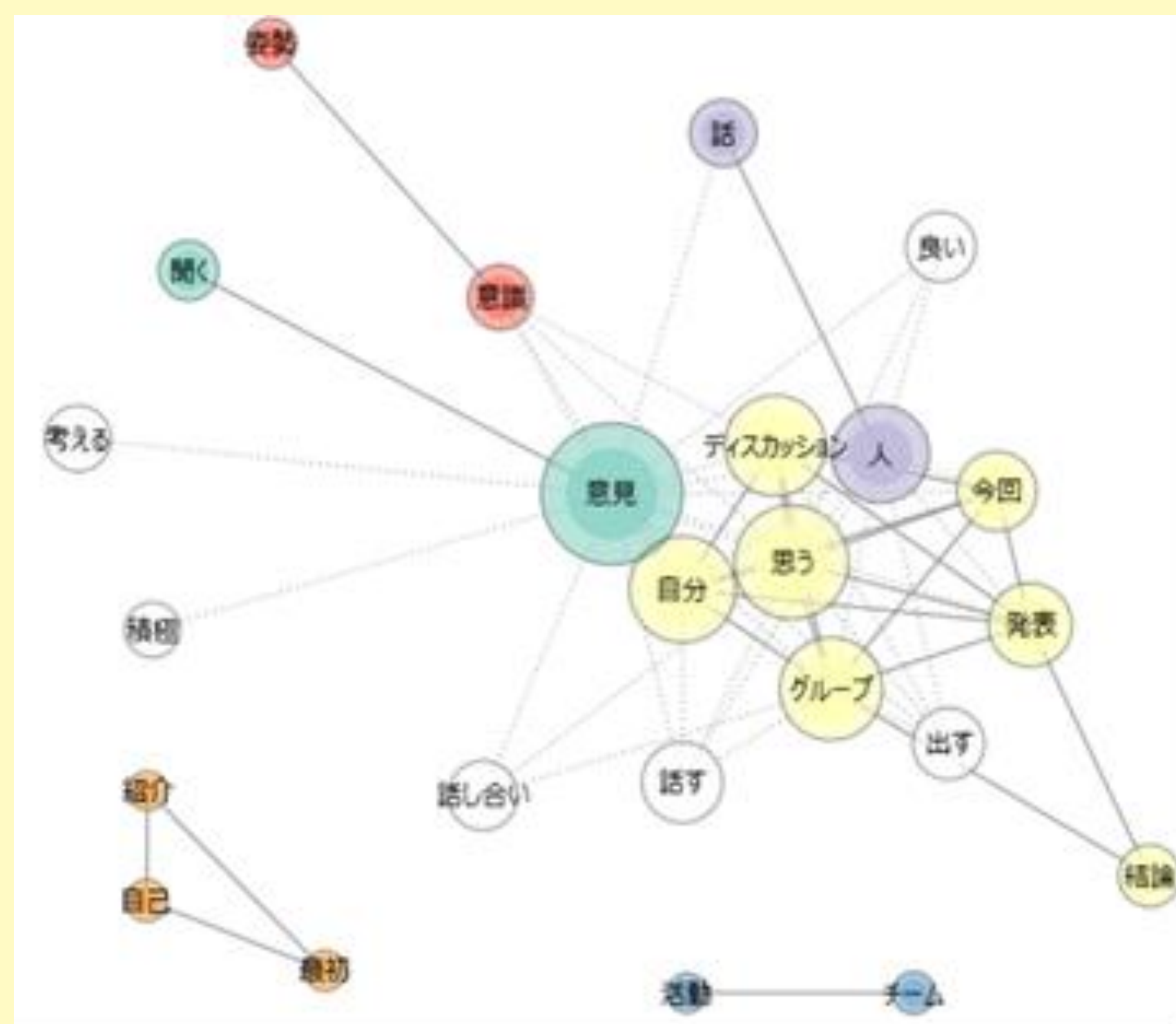
インストラクショナルデザインと定性評価

石田研究室では教育工学に関する研究、特に大学の授業を支援するための授業デザイン (設計)を行っています。研究には、インストラクショナルデザインという手法を用います。インストラクショナルデザインの手法であるADDIEモデルを用いて研究を進めています。

ADDIEモデルとは、分析(Analysis)・設計(Design)・開発(Development)・実施(Implementation)・

評価(Evaluation)の流れで設計する手法で、特に分析・設計・評価を強く意識しています。

分析・評価の際には、学生にアンケートや振り返りを行います。アンケートで定量評価(数値)を用いる場合、学生は自己評価や授業内容の評価に対して、よい評価をつけることが多いことがわかっています。授業や授業で使う資料の評価や自己評価や相互評価を行う際には、得点などの数値の評価ではなく、学生が記入した文章の評価(定性評価)を行う必要があります。そこで定性評価を行う手法として定量テキスト分析(テキストマイニング)を用いて分析を行っています。



テキストマイニングの例

研究テーマ例

(1) キャリア教育・キャリア支援

- 効果的な振り返りの分析
- キャリア教育の授業設計
- 履修支援
 - カリキュラムマップの設計
 - 進路や先輩の声の活用(右図)
- 社会で必要な知識についてのキャリア教育の授業設計
- 経済・税金・企業調査・社会人基礎力など

(2) プロジェクト・ディスカッション教育支援

- 地域を題材とした課題解決型学修
- 社会人基礎力に関する授業と評価手法の検討
- ディスカッション・グループワークの分析と評価

(3) 情報教育

- 情報初年次教育の設計
- 情報スキルチェック・情報プレイスメントテスト・教材の開発と評価



ワードクラウドを用いたシラバスの活用例



社会人基礎力

研究テーマは、学生自身が将来役立つテーマを自分自身で考えてもらうところが本研究室の特徴です。そのテーマについての調査・分析なども研究の一部と捉えています。